

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（172）」

2. 日時：令和5年10月11日(水) 10時00分～11時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他9名

(このうち1名はテレビ会議システムによる出席)

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年10月6日に受取済み>>

- ・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ)
- ・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ) (補足説明資料)

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁谷です。ヒアリングを始めたいと思います。今日の案件としましては泊発電所3号炉基準津波に関するコメント回答ということで、
0:00:11	地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせということで、
0:00:17	10月6日に、
0:00:21	資料が提出されてまして本編と補足資料がありますね。まずはこの資料の内容を説明いただけますか。
0:00:29	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしく願いたします。
0:00:35	今ほどあった通り泊3号炉の基準津波に関するコメント回答ということで、
0:00:41	上昇側下降を合わせて資料をまとめましたのでご説明
0:00:45	します。説明はアオキから20分程度を予定してございますよろしく願いたします。
0:00:51	北海道電力の青木です。
0:00:54	当資料の方本編資料補足資料ございまして本編資料の方で説明させていただきます。
0:01:00	またこれまでのヒアリング、面談の経緯ですが、
0:01:04	衛藤、先月の9月13日に、水位上昇側のヒアリングをさせていただいております。
0:01:10	その後9月27日に面談というところで加古川の検討状況についてお伝えしております。
0:01:17	その1週間後10月4日、先週ですね、水位上昇側と加古側合わせたものというところで、こちらの面談で検討状況を説明させていただきました。
0:01:27	と今回のヒアリングでは上昇下降を含めて、これまでのヒアリング面談からの変更点というサブのところを中心に、水位上昇側下降側についてご説明させていただきます
0:01:39	と、ページめくっていただいて2ページから、
0:01:46	10ページに係るDについては、その面談ヒアリングから大きな変更点ございませんので、説明を割愛させていただきます。
0:01:55	11ページから願いたします
0:02:03	失礼しました。13ページから願いたします
0:02:17	江藤。13ページですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	川白の 2 は移行の影響に関するまとめのスライドになっております。
0:02:25	13 ページのところを変更した点というところで、検討結果の一つ目二つ目のポチの後に※次。
0:02:33	というところで、
0:02:34	組み合わせ線形足し合わせの水位については、組み合わせ同一波動場の水位を上回る傾向があるから、
0:02:41	傾向があることから、組み合わせの線形た申請の 9 以下により判断ができるということを記載追記させていただいております。
0:02:48	それにかかる言葉として一つ目のポチというところで、2 羽以降の組み合わせ評価については、一般の組み合わせ評価よりも小さくて、
0:02:57	日本の移行の影響が小さいことを確認したというところの注釈というところで先ほどの言葉を追記させていただいております
0:03:06	続いて変更点というところで、14 ページ以降で水位下降側に関する説明のところを、
0:03:12	をしております。
0:03:13	この 15 ページをお願いいたします
0:03:19	検討のフローについてですが、
0:03:22	貯留堰を下回る時間の定義に関しては、左側の成果コガの評価方針と、波源の特徴両方に関わる事項というところで、
0:03:33	こちらについては、検討フローから徳田して、破線部というところで、
0:03:37	示してさ、示させていただいております。
0:03:40	また具体的に 2 羽と 4 羽の間をターゲットにしているというところが明示的にわかるようにこの段階では形についてもここで掲載させていただいており、
0:03:51	続いて 16 ページ 17 ページについては、
0:03:55	当評価方針と、波源の特徴、2 ハタ 4 はの間の時間についてまとめたものになっております
0:04:03	当間簡潔に言いますと 16 ページでは、貯留堰を下回る時間の最大ケースを基準津波として選定すると。
0:04:10	いう方針をうたっております
0:04:13	17 ページ。
0:04:14	では、2 ハタ 4 はの伝播経路を踏まえますとその間の時間が 20 分程度あるというところをまとめたものになっております
0:04:23	続いて 18 ページをお願いいたし

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:31	と 18 ページ以降では貯留堰を下回る時間の最大ケースの選定方法と選定の結果についてまとめたものになっております。
0:04:40	一つ目のポチですが、
0:04:42	除籍をした時間の最大ケースを選定するにあたっては、水位が低下する時間が長くなる。
0:04:48	① 水位変動量大きい波源に着目した波源選定と、②加古川の波が重なる波源に着目した波源選定。
0:04:56	この①と②の二つの観点から最大ケースを選定しております。
0:05:01	その理由については、①で書いておりました、水位変動量大きい波源については振幅が大きいため、水位が低下する時間が長い傾向があること。
0:05:10	その具体的な様子が見えるものが、
0:05:13	左側の図で書いているものになっておりました、
0:05:17	水位変動が小さい波源と大きい波源の図をそれぞれ比較して、水変動量が大きい方が、
0:05:23	貯留堰を下回る時間が長くなるというところを記載させていただいております
0:05:29	また、②の観点で言いますと、
0:05:32	地震に伴う津波の上昇側のピークと川白の上昇側のピークが重なる移送の関係であれば、その後の下降側の波が重なり水位が低下する時間が長く、
0:05:42	ところを記載しております。
0:05:44	その考え方をイメージで書いたものが右側の図になっております。
0:05:49	ちゃんと見ていただくと、
0:05:52	具体的な地震津波の 2 羽のピークと川白の一般のピークが重なるような検討をすることによってその後の加古川の波が重なるというところを記載させていただいております
0:06:04	そういった観点から、下段にあります、参考として示しております水位上昇側の組み合わせ評価、
0:06:10	AからB-1B-2 の組み合わせ評価の中で、下降側に対しても厳しい波源が選べるというところを考えており
0:06:18	その選定の結果が 19 ページになっておりました、
0:06:23	健全地形モデルと防波堤損傷①から丸線の③の処理時期を下回る時間の最大ケースを記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:31	それぞれ断層パラメータの細かいところを記載してるところの上のところ に、どういった上昇側の検討から選ばれたケースなのかを明示的に示 しており、
0:06:43	これ以降の資料では、この今選定した長利益を下回る時間の最大ケー スを対象に考察、妥当性の確認を実施しております。
0:06:53	20 ページ 21 ページが考察に該当するものになっており、
0:06:58	この 20 ページからお願いいたします。
0:07:02	藤地震津波とかわしらの水位時刻歴派遣を比較しまして貯留堰を下回 る時間が長くなるメカニズムの分析を行っております
0:07:12	この対象にしたケースについては、四つの地形モデルのうち一番評価 値が大きくなっている③の地形モデルのケースを対象に考察をしており ます
0:07:23	考察の結果ですが、
0:07:25	右側で示しております通り、上昇側、
0:07:29	じゃなくて、加古川の波と、
0:07:31	地震津波の加古川の波と川白の加古川の波が重なることによって、組 み合わせの処理席を下回る時間が長くなっている
0:07:39	というところがわかりましてわかったところであります
0:07:43	また上昇側のピークが重なる移送の関係になると、下降側についても 重なるという関係がわかったところになっ
0:07:52	とう続いて 21 ページをお願いいたし
0:07:56	ここではまた観点が変わりまして、処理時期を下回る時間の最大ケー スの妥当性を示すために、
0:08:02	組み合わせ評価における貯留堰を下回る時間の上限値を検討する。
0:08:07	というところで検討しております。
0:08:10	まず、陸上地すべりカワセらの最大水位の下降量については 4 メータ ー程度になっております
0:08:17	ところですべての時刻において、川白の水位下降量は一律 4 メータ ーであると仮定した場合、
0:08:23	ニワ加古川の組み合わせ評価としては最も保守的な評価になると考え ております。
0:08:29	ここ下線部の注釈※を書いているところにした。
0:08:33	一律 4 メーターであると仮定した理由についてですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:37	この一律の 4 メーターは位相の変動を考慮した川白の加古川の葉系をすべて包絡するということから、この一律 4 メーターというふうに設定しております。
0:08:47	イメージとしてわかりやすいものが、
0:08:50	21 ページの右上のイラストで書いてるものでして、川白尾
0:08:55	のは形を位相ずらしていったときに、加古川、
0:08:58	一番厳しくなる値というのが 4 メーター程度一律 4 メーター程度になるという考えのもとせ、検討しており、
0:09:07	また左側のテキストボックス戻っていただいて、一律 4 メーターを考慮した組み合わせ評価における水位時刻歴派遣については、
0:09:16	地震に伴う津波のハケを一律 4 メーター下げた形。
0:09:20	ということになりまして、このときの処理時期を下回る時間は、実際の評価における上限値に相当すると考えております。
0:09:29	この町利益を下回る時間の上限値というものは、紫色で書いております地震に伴う津波の引き波時と同じ評価になるということ、関係を書いております
0:09:40	その定義ですが、上昇側の 2 羽と 4 羽の間の TP0 メーター以下を対象としたものを、地震に伴う津波の引き波時としております
0:09:49	またその間の一時的な水位上昇については見込まないような設定にしており、
0:09:56	ここまでが考察になっておりましてこの考察の結果を踏まえた妥当性確認のフェーズが 22 ページ 23 ページとなっております
0:10:05	22 ページをお願いいたします。
0:10:10	この妥当性確認の方針ですけれども、先ほどの考察を踏まえたメカニズムの分析を踏まえた上で、以下の二つを示すことで最大ケースの妥当性を確認しております。
0:10:21	一つ目の観点としては、朱書きで書いております。処理時期を下回る時間の最大ケースに対して、位相の変動を考慮する必要がないとする根拠。
0:10:31	また二つ目については青字で書いております。処理時期を下回る時間の最大ケースの波源選定の妥当性
0:10:37	この二つの観点で、最終的な最大ケースの妥当性を確認しており
0:10:43	具体的な方針というところが、破線部の赤系のハッチングと青系のハッチングでそれぞれ記載して、
0:10:51	まず赤の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:52	移送の変動を考慮する必要がないとする根拠ですが、
0:10:55	地震に伴う津波の加古川の波と川白の加古川の波が重なっていることを確認いたし
0:11:02	と具体的には、地震に伴う津波の引き波時において頭の下側側の波が重なり小児科移送の関係になっていることを確認してきます。
0:11:11	また注釈書いておりますが、上昇側のピークが重なる。
0:11:15	関係であればその後の加古川の波が重なる関係であるということも確認しておく
0:11:22	等、青字の波源選定の妥当性というところで、
0:11:25	上昇側の 2 ハタ 4 は、については、TP-4 メーターを下回る可能性はないということから、2 ハタ 4 はの間で、組み合わせ評価における貯留堰を下回る時間が長くなる。
0:11:36	上限値に近いことを確認いたし
0:11:39	具体的には、組み合わせ評価における貯留堰を下回る時間が、その上限値であります地震に伴う津波の引き波時、
0:11:46	に近い値になっていることを確認するというところになっており、
0:11:52	その確認の方針というものがありませんしその結果は右側で 1 例で示しておりますが、四つの地形モデルの最大ケースについて同様な結果を確認しており
0:12:03	その結果を踏まえたものが 23 ページ書いておまして、
0:12:07	刀剣前地形モデル①から③の地形モデルの貯留堰を下回る時間の最大ケースに対して、
0:12:13	処理時期を下回る時間が長くなるメカニズムを踏まえた上で以下の 2 点を示したことから、貯留堰を下回る時間の最大ケースは妥当であると考えております
0:12:23	また、繰り返しになりますが、最大ケースに対しその変動を考慮する必要がないとする根拠を、
0:12:29	については、地震に伴う津波の引き波時において貯留堰を下回る時間が長くなるように、
0:12:35	頭が重なる移送の関係になっていることから、すでにその変動が考慮された波源が選定できていると考えております。
0:12:42	また波源選定の妥当性という観点では、組み合わせ評価における貯留堰を下回る時間が、
0:12:48	上限値になります地震に伴う津波の引き波時に近い値になっていると。
0:12:53	ところから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:54	最大ケースは妥当であると考えております
0:12:56	また最大ケース、下側の表で書いておりました、参考というところで、
0:13:02	ポンプの取水可能時間との対比を表中に記載しておい
0:13:09	等、以降の内容については基本的に先ほど説明した1章の説明概要の、
0:13:15	ところの変更結果を反映したのになっており、
0:13:19	ただ加古川については今回初めて説明するというところで、
0:13:23	細かいところで、
0:13:25	ページ飛びまして103ページお願いいたします
0:13:41	基本的に水位下降側については先ほどの1章の説明概要で説明した内容が基本的なところになりまして、
0:13:47	それを補足する参考するという考え方で103ページで、
0:13:52	これまでの変更経緯というところで、
0:13:55	どっち累積を下回る継続時間パルスを考慮しない時間をどのように考えているか、取水、3号炉取水口下降量の扱いについてどう考えているかというところを参考として掲載しております
0:14:07	その他の流れについては先ほどの流れと同様です。
0:14:12	また106ページ107ページでは、津波の伝播経路のバックデーターについて記載しているものになっており
0:14:20	また108ページにつきましては、
0:14:25	これまで組み合わせ評価やってきたケースを対象に、2羽と4羽の間が20分あるというところを確認した、バックデーターもこちらで計算しており
0:14:35	また、111ページをお願いいたし
0:14:44	当こちらでは、長理事岸田丸次官の最大ケースがどういう検討から選ばれたのかっていうところ、選定プロセスを明確化したものを111ページ1ページでまとめており、
0:14:55	もう少し細かい内容については補足説明資料側の方で、
0:14:59	掲載しており、
0:15:00	その結果が112ページで、最大ケースを選ばれたというところを記載したものです。
0:15:09	また、118ページ119ページ。
0:15:18	こちらが最初のほうで説明した妥当性確認の
0:15:22	確認の結果をそれぞれ4地形分118119で掲載したのになっており
0:15:29	等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:31	これまでです。
0:15:32	説明からの変更経緯というところで説明させていただきました説明は以上とさせていた
0:15:41	規制庁谷です。
0:15:43	それでは確認に入りたいと思うんですけれども、
0:15:50	これ、今回、上昇側と加古側が
0:15:54	久々に
0:15:56	一つの資料になって、出てきたわけなんですけれども、
0:15:59	何かですね、これコメント回答ということで、コメントの部分だけを答えますよっていう姿勢なんだと思うんですけれども、
0:16:09	やっぱりね何か、
0:16:11	これを見てい
0:16:13	大分
0:16:16	なんていうのかな全体のコメントは、該当しますよってというのはですね、上昇側、
0:16:23	ではわかるんですけれども、
0:16:26	その全体の論理構成というか、例えばですね。
0:16:31	なんか 8 ページに
0:16:35	書いてますよねこの検討方針ということで、
0:16:39	このAっていうこう着目点とBっていう着目点でやっていくことによって、
0:16:48	波源が網羅的に、
0:16:51	選ばれているんだと、というような説明なんですけど、それで絵のところだけを、
0:16:58	説明するっていうような形になって、やっぱり最後はAもBもやってこうだから、妥当なんだっていう話に結びつけるのに、
0:17:10	何かBの部分がぽっかりこう概要すら載っていないっていうような資料で、
0:17:16	なんかですねこれで、
0:17:18	いいのかっていう部分がですね。
0:17:20	ちょっと
0:17:22	わからない。それは前回の会合資料見てくださっていうことなのかもしれないんですけど、
0:17:28	さすがにこれ説明のロジックの中で主になる部分は概要でもいいのでこうつけてもらえたらなっていうふうに思うんですけどね。給油、具体的に 9 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:46	令和4年9月16日審査会合における説明内容。
0:17:50	というのが書いてたり、令和5年3月24、可児。
0:17:55	における説明内容っていうのが、
0:17:57	書いてあったりはするんですけどこれはあれですかね、この
0:18:00	資料を見て下さいっていう
0:18:03	そういうことで今回全然つけないっていうことなんですか。
0:18:08	どっかついてるんすかねそれとも。
0:18:13	衛藤北海道電力の青木です。
0:18:15	Bの評価の具体的な検討の内容については今回資料化できていないっていうのが事実としてございます
0:18:23	その考え方に至るところっていうところろ、
0:18:26	ちょっと指摘事項とあわせて説明させていただきますと、3ページのところに、
0:18:32	一気事項No. 33 ございましてこの関連だと思っております。
0:18:37	その中で大きい枠組みというところで、ナンバー33 というところで、
0:18:43	組み合わせによって波源の入れ替わりが発生したことを踏まえて、現在の組み合わせ構造としている波源で、
0:18:49	根拠を明確にした上で説明することに対してはこれまでの経緯を踏まえた上で、
0:18:57	これまでの説明、
0:18:59	既往の審査における説明内容と今回説明したものを合わせたもので該当すると考えております。
0:19:05	一方、今回の正規に対する回答のメインのパートというものは、指摘事項の33-1。
0:19:12	っていうところを考えておりましたそれに関する内容を今回、
0:19:16	39ページにおけるAの評価っていうところで、説明を充実化させていただいたというところ。
0:19:22	になっており
0:19:23	以上です。
0:19:25	うん。山谷です。衛藤。
0:19:28	だから、やっぱり例、波源選定の妥当性っていうのを説明する時に、Aの話とBの話っていうのをあわせてすることで、
0:19:42	妥当なんだっていう説明をされていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:45	ということなんですけどそのBの部分をね細かい話までいらないんでしょうけど、こういうことをやってるんだっていうのをちょっと概要版でも何か参考でも、
0:19:56	せっかく補足も作ってるんで、どっかにないですね、多分、
0:20:05	論理の小骨になる部分の部品がないっていうことになって、ちょっと議論できないかなって思ったり、あと結局、
0:20:16	これね、上昇側からいきますけど上昇側って、こういう検討しましたよって言って、最初に方針としてねっていう方法とBっていう方法。
0:20:27	やれば、
0:20:29	大丈夫なんですよっていう方針を金でやってるわけなんですけれども、最後のこの結果、
0:20:37	ていう部分が何ページになるんですけど、この
0:20:40	その方針に基づいて検討やりました。で、結果はこうなんですっていう。
0:20:47	71 ページとかになるんですかね。
0:21:08	これなんか結局こうこうでこうだから妥当なんですよみたいな。
0:21:12	結構 2、
0:21:15	なっていないような気がするんですけど、上昇側全体の話を含めて、こういうことを、
0:21:21	やってこういう結果になったから、
0:21:27	ていう何か、
0:21:28	最後の結論。
0:21:30	は何なんだろうかっていうのが、
0:21:35	何か漠然として終わってると、追加検討やりましたっていうので終わっていないですかっていうところなんですけど。
0:21:42	どうですかねその辺、
0:21:48	当北海道電力の青木です。
0:21:51	先ほど、
0:21:53	谷さんのおっしゃるところを踏まえまして 3 ページで指摘事項を書いておりますが、
0:21:58	我々としては 33-1 がメインパートというところここに重きを置いていたんですが、
0:22:03	No.33 全体として波源選定の妥当性説明するにあたっては過去の経緯のところについても概要版とか踏まえた上で、
0:22:11	記載を追記したほうがわかりやすさが増すのかなというふうにご考えておりますので、その観点で検討さ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:18	金庫。
0:22:18	検討したいと考えております
0:22:21	1、
0:22:22	最後、回答のまとめというところで、71 ページ。
0:22:26	になります、
0:22:28	こちらについては指摘事項No. 33-1 の回答のまとめというところで、
0:22:34	全体の 33 の回答という位置付けよりかは、その部分的な 33-1 の回答のまとめ。
0:22:41	というところで記載しておりますので、
0:22:45	全体の波源選定の妥当性、
0:22:47	すべての回答をまとめた上での
0:22:50	考察だとかまとめていうところがあった方がいいのかなというところ思いましたので、その観点でちょっと検討したいと思っており、
0:22:58	以上です。はい谷です。もうね来週とかを会合目指しているんで大体のイメージを掴んでおきたいんですけれども、それが入るとしたらじゃあ、
0:23:08	指摘事項No. 33-2 の後とか数に入るってことですか。
0:23:16	全体の話をする、いやそれともね、何か
0:23:21	33-1 がメインのストリームであって、それを説明する中で、33-2 っていうのも、まず大前提の部分を確認しているんですよっていう位置付けだったら、
0:23:34	別に 33-1 のまとめの中に、
0:23:37	こうこうこうでこう、
0:23:39	波源選定が妥当なんだと。
0:23:41	D2 は移行については、そのあとで説明するけれども、こういう方針でやってこういう結果になったから妥当なんだとかいうのが、別に 70。
0:23:52	2 ページ、71 ページの後に入ってきてもいいのかなと思うんですけれども。
0:23:58	どうですかねその辺今、
0:24:02	こうしますっていうのが、決めるんだったら決めときませんか
0:24:05	藤北海道電力の青木です。ちょっと私の答え方がババフラットしててイメージわきづらいというところで、
0:24:12	まず、検討方針をうたったページが 8 ページになっておりますので、
0:24:18	基本的に検討方針に対して、
0:24:21	こういう最大ケース選べたっていうところが検討結果になると、該当すると思っておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:27	その辺りが 71 ページの 33-1 の回答の前後、
0:24:33	にくるようなイメージかなと考え、
0:24:37	規制庁の名倉です。
0:24:43	何を改善したら劇的に変わるのか。
0:24:49	で考えると、今の指導状況見ると、
0:24:53	実は、
0:24:53	5 ページで説明の流れでいきなりもう、
0:24:57	本論に入っちゃう。
0:25:00	普通、他社のコメント回答資料とかを見たら、
0:25:05	傾向的にわかると思うんですけど、
0:25:08	コメントがあったら、コメントの回答用紙あるんですよね。コメントの回答用紙をどこまでしっかり書くかって話はあるんだけど、
0:25:19	今回のコメント回答。
0:25:24	目的って何かっていうと、
0:25:27	波源選定ノダアノ妥当性村瀬。
0:25:30	が目的なんだけど、
0:25:34	コメント回答の要旨と今回やってるやつを、
0:25:39	1 ページ、
0:25:43	何か箇条書きにして、
0:25:45	見てもらった方がいいんじゃないかなという気がちょっとしてる。
0:25:48	百田さんが全体整理できたんで、
0:25:51	頭に
0:25:52	コメント回答の要旨とか入れてそれに整合的にまとめをちゃんと、
0:25:57	概要にくっつけるとかしないと今のところを、
0:26:01	いきなり流れに入っちゃってるんで、
0:26:03	割ってなっちゃうんです、見る人は。
0:26:06	あれ。
0:26:08	これって一体じゃあこれ読まないで結果わかんないのか。
0:26:12	だからコメント回答用紙をまずちゃんと書いて、
0:26:16	今回どういうことをやったのか。
0:26:19	その結果としてどうなったのか。
0:26:21	というのを、
0:26:23	これ最初にやろうとしてと頓挫して、と思うんですけどそれがまずあって、
0:26:29	それと整合的なまとめがちゃんと入ってる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	ていうことが多分資料として、それだけでも全然見た目が違ってくると思います。
0:26:39	実はそれをやることによって全体像をもう1回、
0:26:43	中身の方でチューニングして整理することにも繋がるので、
0:26:47	ちょっとそういう取り組みをした方がいいんじゃないかな。
0:26:51	ちょっとそう思いました。
0:26:53	ただし、それを言ってやらせることによって、逆に混乱してしまう可能性もあるんで、ちょっと危険性はあるなどは思ってるんですけど。
0:27:04	今の資料のわかりにくさの根本的原因がどこにあるのか。
0:27:08	て考えたときに、そういうところなのかなというふうにちょっと思いました
0:27:13	すいませんこれ私の感触ですけどね。谷さん。
0:27:21	すいません北海道電力、竹田でございますわかり。
0:27:26	ちょっと確認だったんですけど今
0:27:28	回答概要、指摘事項と回答概要につきましては、28面の方にですね、
0:27:34	33-1からそれぞれ各
0:27:38	右上で28でございます
0:27:42	はい。すいません。個別の31323334のそれぞれのところに、ちょっと今概要を入れて、
0:27:50	るんですけども、これを前の方に持ってきて集約して、こういうご指摘いただきましてこういうふうを考えてご回答いたしますというのを、初めの方に持ってきて、まとめてこういう方針でご回答いたします。
0:28:04	というのを元に示した上で、中に入っていた方がより、
0:28:08	わかりがよくなると、そういったご指摘かと。
0:28:12	と思いますが、
0:28:14	規制庁の名倉です。
0:28:16	これはこれとして回答概要でいいんだけど、
0:28:19	もう少しちゃんと書いてる。
0:28:22	概要を、
0:28:23	頭ん中整理してるって、例えば2分とか3分とかで口頭で説明してくれてか言われた時に説明できます。
0:28:31	このコメント回答じゃ中身わかんないですよ。概要だと。
0:28:35	私が言ってるのは、全体の流れをちゃんと箇条書きにして2分で口頭で答えられるような、
0:28:42	内容で説明できますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:48	そのイメージです。このイメージっていうのは回答の概要としては、整理表としてはこういうのはあるかと思うんですけど。
0:28:56	ちゃんと、
0:28:57	まとめと概要に相当するもの。
0:29:01	概要とまとめに相当するものとしてちゃんとせ、頭ん中整理してますか。
0:29:07	その整理が。
0:29:10	重要なんじゃないですかって言いたかっただけ。
0:29:13	これは確かに回答概要としてこれは頭の方に、
0:29:19	あった方がそれはいいかもしれない。
0:29:21	正しい、ちゃんと全体像がつかめるような、箇条書きの整理をちゃんとしてて、
0:29:27	それと整合的なまとめをちゃんと締めとして入れてますか。
0:29:32	うん。私が言ったのはそういうオーダーです。
0:29:36	すいません北海道電力竹田でございますえっと、
0:29:41	ちょっと面談で言うのも、
0:29:44	資料で言うのもあれですけどもA41 万円くらいで、まず上げについてはこういう方針で北海道電力やります、下げについては、こういう方針でありますというのを書いたような、
0:29:55	趣旨を概要としてまとめて上げ下げとこういう考えでやっていきますというのを、初めの方に持って行ってその中に、ご指摘の回答も、
0:30:06	読める形で、箇条書きにしたもの。
0:30:09	というようなイメージでしょうか。
0:30:16	規制庁の名倉です。何か、また連れてきたんですけど、方針っていうことには終始してるわけじゃなくて今回やったことを、
0:30:24	どう説明するんですか、コメント回答も含めて、
0:30:30	という私はいいい意味でをし、話をしています。
0:30:37	北海道電力竹田でございますご指摘踏まえて検討したいと思います。
0:30:43	を、
0:30:46	当北海道電力の青木ですと冒頭で指摘事項に対して今回野瀬回答の概要をまとめるっていうところはわかりやすさの観点で重要かと思っております。
0:30:56	その中で、話の流れとして、
0:30:59	川白アノ一般の組み合わせ評価、指摘事項 33-1 がメインパートっていうところを我々の説明したいところになってますので、そういったところの強弱がわかるような形で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:11	冒頭でコメントの概要、
0:31:13	回答の概要というところをまとめたいと考えております。以上です。
0:31:18	成長の名倉です。
0:31:20	ポイントは、例えば上昇側であれば、
0:31:23	まず逆転現象が生じた。
0:31:25	原因が何か。
0:31:29	うん。
0:31:29	それは、
0:31:31	地震と地すべりの、
0:31:33	ピークが重なるタイミングがぴったり合ってしまう。
0:31:38	そうすると、
0:31:45	必ずしも
0:31:47	ピークが高くなくても、重なり合うことによってトップになってしまう、影響が大きくなってしまう
0:31:53	で、それが、
0:31:54	今回このサイトでは地すべりかなり、
0:31:57	大きな水位を想定しているので、
0:32:00	そういうことが生じますと、あとは、は形的な特徴も含めて、
0:32:05	第2第4、第2は第IVの関係、第一波代なのか。
0:32:10	とかそういう特徴があるので、
0:32:12	そういった特徴をちゃんと考慮した上で、
0:32:17	地震による地すべりと、
0:32:22	地震による津波と地すべりによる津波が、
0:32:27	ピークが重なるものをちゃんとまず拾って、
0:32:33	特定した上で、
0:32:34	パラメーターをさらに、
0:32:36	詳細パラメータスタディ検討して、
0:32:39	影響が大きい波源を、
0:32:43	ちゃんと特アノ波源とか、パラメータを特定した上で評価を実施し、
0:32:48	それに加えて、
0:32:52	ピークは重ならないけれども、
0:32:55	地震によるピークとして高いものについては念のために、
0:32:59	検討をして、
0:33:01	二つ拾いましたってことですね。
0:33:02	それ以外は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:04	最初のパターンで全部、
0:33:06	ある特定のパターンで決まっちゃいました。
0:33:09	だから、これまでやっていた。
0:33:13	ものに対して、
0:33:16	若干パターンなの。
0:33:18	パラメータの振り方、これが、
0:33:21	やっぱり重なるところを念頭にチューニングをすると、今までやっていなかったところだったので、これがトップになりました。ほぼほぼこれで特定されました。
0:33:33	という結果になったわけですね。その結果として、1.6メーター更新しちゃった。
0:33:39	何かここら辺をちょっと、
0:33:43	うん。
0:33:44	一連の
0:33:46	流れとしてちゃんと説明をまずした上で、
0:33:50	そうすると今私が話したことって全部入ってますよね。
0:33:54	どういう論理でどういう検討をしてどういう結果になったかって、一応全部入ってますよね。
0:34:00	まずこれで十分かどうかという話はあるんだけど、
0:34:04	そういったものがまず最初にあって、
0:34:08	説明に入ると。
0:34:10	そうすると、じゃあ今の流れの中で言ってることが本当に、
0:34:16	必要最小限の内容になってるのか
0:34:18	余分な肉がついちゃってないかとか、そういうのも、
0:34:22	見えてくるとは思うの。
0:34:26	ちょっとここら辺を検討してもらった方がいい
0:34:29	肉をそぎ落とすっていう風に移行作業を通すのは、
0:34:32	今後の課題ではあるんですけど、ちょっとこういった、
0:34:36	ところをですね、少し全体を見て、流れを整理して論理とか根拠を整理して、
0:34:43	また、詳細なところをこう見たりして、
0:34:47	視点を変えて整理していくと。
0:34:49	よりよくなるんじゃないかなという気がしますすみませんちょっと長くなって申し訳ない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:59	北海道電力の青木です。名倉さんの粕江コメントを踏まえまして冒頭で、そのあたりわかりやすくなるように検討したいと考えております。以上です。
0:35:14	井谷です続けてですね、全体の構成の話からちょっとイクノで、上昇側はそういった結構大きめな、
0:35:24	最初と最後ですかね、そういった構成としているよというのと、Bシリーズの検討にしても、何らかの概要が補足なり何なりに入れておく必要あるんじゃないですかという。
0:35:38	やったことがちゃんとわかるような資料、
0:35:42	にしてくださいという古藤です。
0:35:44	一方ですね、下降側っていうのがですね、今回なんかついてるんですけども、
0:35:52	私正直言いまして、
0:35:59	どう、
0:36:01	私は今まで聞いてるからきつとこういうことやってんだらうなって思うのは、わかるんですけども、これ見てねえ。
0:36:08	なかなか、検討の流れというのがわかる資料になってるかっていうと、わからないと思うんですね。例えば地震単独で、
0:36:20	地震単独で、貯留堰を下回る時間っていうのを算定し直しましたよっていう話なんですけれども、その結果って、
0:36:32	どこにも説明ないですよねとかですね。
0:36:35	で、組み合わせに進みますよって言った時に、
0:36:38	組み合わせるときにどうやって組み合わせるんですかとかそのやり方の説明、
0:36:44	ていうのが、
0:36:45	何か評価方法を変えたんですよっていうのに対して、余りにも中身がなくて、
0:36:51	例えば 111 ページからはもう、
0:36:55	これ、
0:36:56	もうほぼ結果から始まっているような感じなんですよね。
0:37:01	でねやっぱりね
0:37:04	評価のプロセスっていうのはねをやった検討は最低限、わかるようにして欲しくて今のままだったら、
0:37:12	どの波源を対象にどうどう組み合わせをやったのかすら最初の時点でちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:21	きっこういうことをやったんだろうなっていう推測で審査しなきゃいけないような状況になってて、
0:37:27	多分この下降側っていうのは、
0:37:31	もう少し
0:37:33	会合とかで議論するにわあ、
0:37:36	ちょっと説明が足りないんじゃないのかなっていうふうに
0:37:40	もちろん細かなね、ここが何を言いたいんだろうなとかそういう事実確認もいっぱいあるんですけども、
0:37:48	会合に進むには少しく部品が足りてないです。ないんじゃないんですかというふうに思うんですけどどうですかねこれで。
0:37:58	やってることが全部こうわかるような資料になってると思いますか。
0:38:06	北海道電力の青木です。
0:38:08	当選定の、
0:38:10	選定のプロセス 111 ページでほぼほぼ結果からまとめたものになっているんですが、その詳細については補足説明資料の 4 章(3)のところで、詳細をまとめております。
0:38:24	具体的には、補足説明資料、別の資料になりますが、
0:38:29	125 ページ以降ですね。
0:38:44	検討の内容が多いのはここでもう少しわかりやすさの観点で、要点だけまとめたものになっておりますが、126127 では地震に伴う津波単独に対して、
0:38:56	評価項目を変更してパラメータスタディやり直したところを書いております。
0:39:01	今 128129 っていうところでは、上昇側の検討における検討の内容を使って、後半の最大ケースを出したっていうところを書いてるものです。
0:39:12	それぞれAの評価であったりBの評価っていうのを同じようなフォーマットでまとめたものになっております。
0:39:20	以上です。
0:39:22	井谷です。ちょっとねこの資料も、
0:39:25	補足ももちろん読んでるんですけども、
0:39:29	結局変更しましたよとか言って、括弧
0:39:34	例えば、
0:39:39	組み合わせでどれを組み合わせたかというところ 128 ページの、
0:39:45	下限と 130 ページの波源と 132 ページの波源と 134 ページの波源とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:51	そういうことがね、1 ページ 1 ページめくって行って、
0:39:56	何かよくわかんない。
0:39:57	きっとそうなんだろうけど、
0:39:59	わかりにくいんですよ。で、
0:40:03	どうやって組み合わせをし、してるんですか。
0:40:07	ていうのとかも多分、
0:40:10	ないですよね上昇側と同じように
0:40:12	上昇がこれまで聞いてきてるんですけど、
0:40:16	やってるっていう。うん。
0:40:18	のも何かよくわからないんで、なおかつこれ下降側って、
0:40:25	今回あの時間だけ見ますよっていう方針に変えましたと、加工量はもう組み合わせでは見ませんっていうことなんですかね。
0:40:36	そういった
0:40:38	どこまで加工。
0:40:41	量っていうのを、
0:40:43	どこまで見るようなことに使ってるのかっていうような、なんかね全体の話もわかりにくくて、
0:40:52	私これ
0:40:55	ちょっと今回、
0:40:58	これをもし会合で議論するような、基本的なデータを入れてもらおうとしたら、
0:41:05	相当な時間かかるんじゃないのかなって思って、今、そういうことを言ってるんですけども、どうですかね前全体の下降側のこういう検討をしていますよっていうのが、
0:41:16	全部本編じゃなくてもいいんですけども、抜けなくこう整理するとし、
0:41:21	したら、ちょっと時間かかりそうな気がするんですけどいかがです。
0:41:57	北海道電力の松村です。
0:42:00	今ほどお話あった通りちょっと加古川については、
0:42:05	少し全体の流れとかがまだ少し整理が足りない。
0:42:10	というふうに私も今ちょっと、
0:42:12	コメントを踏まえて認識しております。少し整理を時間、時間を少しかかるというふうに、
0:42:19	考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:21	ちょっとその時間がいつかというのはあれですけども、ちょっと今すぐ1週間とかでできるような範囲量ではないかなというふうに理解をさせていただきます。以上です
0:42:34	はい。確認できました。
0:42:37	あとですね私たちも会合をですね、できれば最短で来週とかに、
0:42:45	設けたいと思ってるんですけどその辺のちょっとどこまでの議論にするのかっていうのを、また後で相談しようかなと思います今の意見も
0:42:54	踏まえてですね。
0:42:56	我々としてはこれ、もう少し柔軟にやってもいいかなと思って上昇側だけを会合にかけるだとか、
0:43:04	上昇側でも、今から小石、
0:43:07	例えば来週目指すんだったら、それなりに急いで、
0:43:12	資料、
0:43:14	整理する必要があるのかなというふうに思いますし、構成も、
0:43:19	あれですよこれは分けるときに、
0:43:22	先週の、
0:43:23	この提出前の所、
0:43:25	今日に戻すんですかね、その辺の話はちょっと、
0:43:30	ロジ的な話ともなるので、後程またせ、話をさせてください。
0:43:40	規制庁の名倉です。ちょっと質問だけなんですけど、
0:43:44	本編資料の、
0:43:47	18ページの、
0:43:49	①②、水位下降側に対して、
0:43:53	0102って言ったときに、
0:43:56	①はこれまで、
0:44:00	言われていた水変動量が大きいものが時間評価上も、
0:44:04	ある程度影響が大きいだろう。
0:44:07	ここはちょっとな、中身をいろいろ区分して、
0:44:10	今回いろいろと、
0:44:11	やられたんでこれはちょっとまだ体系的に把握してないんですけど、
0:44:15	右側の②なんですけど、これって、
0:44:19	何をどういうふうを選定してどういうふう、
0:44:21	検討したかっていうのは、どの資料のどこを見れば載っています。
0:44:26	ここだけちょっと教えてもらいます。どこにあるのかだけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:31	北海道電力の青木です。この 18 ページで検討の方針に該当するようなところ、検討の方法を記載したものになっております。
0:44:40	このうち②の考え方については、水位上昇側の組み合わせ評価の、
0:44:49	北海道電力の青木です。経営結果の掲載箇所というところで、
0:44:55	4 章の後半の方に掲載しております、
0:45:01	具体的に 118 ページ 119 ページ。
0:45:04	が結構
0:45:06	本編資料の 118 ページ 119 ページ。
0:45:09	2 は形を掲載しております。
0:45:17	規制庁の名倉です。これ、結果ですよ。
0:45:21	ど、どういう。要はその検討の、何ていうかな、網羅性というか、
0:45:27	陸上地すべりでどういうは形を選定したかってのは、
0:45:32	どっか、陸上地すべりはこれはだから、そっからは形はもう、
0:45:37	決まってる。
0:45:45	で、相手の対象っていうのはどう選ぶのかとか、
0:45:49	そこら辺はどう選んでるんです。
0:45:51	地震に伴う津波はどう選ぶのかと。
0:45:55	北海道電力の青木です。
0:45:57	藤名倉さんおっしゃる通り陸上地すべりかは知らについては、パラメータいじるようなものではありませんので地形モデルごとでは形が違っておりますが、基本的には同じ形成になっております。
0:46:09	上昇側のケースの、地震に伴う津波の方をどのように検討しているかっていうところについては、
0:46:16	ちょっと上昇側の検討の結果を使って、最大ケース出しているというところがありまして、その上昇側の結果を踏まえて最大になるものを引っ張ってきてるっていうところが事実になっております。
0:46:28	上昇側のところを引っ張ってる理由っていうところで、変動量が大きいものってのが下降側に対して厳しいという考え方。
0:46:36	このケースを引っ張ってきているという考え方になっております
0:46:42	私は選定の考え方を聞いているんですけど、
0:46:46	例えば、
0:46:49	地震に伴う津波の引き波時って村崎のこの時間が長いものを波として選んでるのかとか、
0:46:59	何か、地震を地震に伴う津波を選ぶ考え方って、何かあるんじゃないですか。見てこれは影響で仮想だ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:10	いやだからそれは何か定量的な尺度で見てるんですか。それはどういう策、どういうふうな考え方ですか。
0:47:18	ていうのはどこにもちょっと書いてない。今ぱっと見た感じで書いてなかったんで、そこはどういうふうを選んでるんですかっていう、そういうところをもう、やっぱり、
0:47:28	ナイトウ、やっぱり説明としては、
0:47:31	ちょっと心もとない部分があるのでこの辺はちょっとよく考えて、どう説明するのか、そういうところもちょっと含めて、
0:47:40	どういう考え方でどういう。
0:47:43	波源を選定してどういうふうに、
0:47:46	それが妥当だというふうに考えたのかっていう説明をどうするのかってのはよく考えていただきたい。
0:48:02	これ関連して私も聞きたいんだけど。
0:48:05	この説明ってね、
0:48:11	ピークが重なる。
0:48:15	そうであれば、その後の下降側の波が重なりって、
0:48:20	言ってますけどこれ、
0:48:22	2 は遠い。
0:48:24	地震の 2 はと、地すべり一般の話をしているんですかそれ。
0:48:30	何か、上昇側のピークが重なる位相であればその後の下降側のカナミも重なりとかいって、
0:48:36	何の条件なのか。
0:48:38	よくわからなくて、これあれなんですかそれともその、
0:48:42	地震に伴う津波の周期
0:48:46	等、
0:48:47	川白の所んご周期が一緒だからとかそういうそういうことを言ってるのか、何だかこの説明ってのもね
0:48:55	読んでてね。
0:48:58	何か説明が足りないのか。
0:49:00	よく、
0:49:03	わからなかったんですよ、これは。
0:49:06	まず、
0:49:07	2 羽と重なる時の話を言ってるんです。
0:49:11	当北海道電力の青木です。
0:49:14	110 ページでポンチ絵で概念書いてるところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	になっておりますが、
0:49:21	ここではわかりやすさの観点で、地震に伴う津波の 2 は、
0:49:26	と陸上地すべりカワハラ一般の場合を例示して記載しております。
0:49:30	その周期の観点で言いますと、地震津波とかはしない。厳密には同じ周期ではなくて、わずかに異なってる、概ね同じなんですけども、
0:49:40	微妙に異なってるっていうところもありまして加古川の波が重なる関係になるというところを記載しているところになっております。
0:49:48	それを確認した結果っていうところが、
0:49:51	さっきの説明にもあります 119 ページの方ですね。
0:49:58	と 119 ページのこちらのは形見ていきますと地震津波の 2 は藤川シライっぱが重なるような移送関係でその後ろの波が重なっている加古川の波が重なるという結果を書いております。
0:50:10	一方 118 ページの方では、ちょっと等、
0:50:14	119 と 118 で、地震津波の東西の関係が違うというところで、重なるピークの対象が、
0:50:22	118 だと、1%と 1%を対象に検討したもので、
0:50:26	それに伴って加古川の波のどれか重なるっていうところが、118 と 119 でちょっと違うというところになっておりますが、考え方は同様かなというふうに考えております。
0:50:37	結論から言いますと、
0:50:39	地震津波の 2 羽と川白の 1%重なる場合、
0:50:44	もしくは地震津波の一派とカワセの 1%が重なる場合については、オカコガの波が重なるという考え方を示したものになっております。以上です。
0:50:57	はいたんです。
0:50:58	何かその辺が、
0:51:01	ピークが重なればって何のピックの話だろうとか思って読んでしまうので、
0:51:07	何で今の説明、
0:51:10	一派同士が重なっても、
0:51:13	地すべりは、野地川シライ一派が重なっても、それでもそのあとの、
0:51:20	2 羽以降の波。
0:51:22	低下が大赤重なるんだと。
0:51:24	いう話だったらその辺はちゃんとわかるように、
0:51:28	書いてもらったほうがいいなと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:32	規制庁の名倉です。
0:51:34	ちょっとお聞きしたかったのは、
0:51:36	これってもしかして陸上ディスプレイ川下のやつの第一波が直達派で、
0:51:44	第2はっていうのは、やっぱり同じような関係にあるんです
0:51:49	言わないのは、不安の反対側からの反射。
0:51:55	ということなんですか。
0:51:57	ということであれば、
0:52:01	第2はとそのあとの、
0:52:04	下降側の小さい波っていうのは、
0:52:07	おそらく、地震に伴う津波と関連性がある。
0:52:11	ていう。
0:52:12	説明ができると思う。
0:52:14	ですけど、明日そういうことを言ってるのであればそうそういうふうと言 っていただいた方が、
0:52:19	理解はでき
0:52:23	同じ反射だから第2は、同士で同じような葉系、
0:52:29	周波数特性とか周期特性、
0:52:32	近いものになっているっていうことであれば、
0:52:35	PEEKに着目して、合わせれば、
0:52:38	下降側と下降側、
0:52:42	地すべり、陸上地すべり加工が話題にハーと。
0:52:48	重なり合う時間を少し長くする方向。
0:52:51	の検討に繋がるっていうふうに、
0:52:55	やるのかもしれないですけど、そこら辺ちょっとなんで、
0:53:00	第2は同士、上昇側の第2は同士のピークを重ねると。
0:53:04	時間が長くなり、なるんだって説明が、なぜそう、そういう説明になる のかっていうのがちょっと、
0:53:11	多分谷さんわかりにくいってのはそういうことかな。
0:53:18	北海道電力の青木です。藤河内テラノに廃校がどこから来てるかってい うところをちょっと確認できていないところになっておりますので、確認し た上で、論理展開として説明しやすさが向上するっていうところ。
0:53:33	を踏まえて、資料に反映できるかどうか検討したいと考えております。
0:53:37	110 ページで書いているところについては、
0:53:41	ちょっと事実とは、人、順番が逆になってしまうかもしれないんですが結 果を見た上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:47	加古川の波が重なるっていうところを確認しております、何で上昇側の結果に対して、加古川の波が重なっているんだらうっていうところを確認したときに、
0:53:56	上昇側のピークとピーク重なれば後が重なるってところがわかったところになっておりますので、その辺りを書いたところになっております。以上です。
0:54:17	それでね、じゃ、ちょっと
0:54:21	資料構成の話は、これぐらいにして、ちょっと内容を確認していきたいなということでまた上昇側の方に戻っていただいて、
0:54:31	ちょっと資料なんすけど、
0:54:33	6 ページで、1 発 2 羽が重なる場合には組み合わせの水位が高くなるっていう話をしていると。
0:54:40	7 ページは、
0:54:43	7 ページも似たような話をしてるんですよ。
0:54:48	これなんか 7 ページとかで、
0:54:51	何か、そうずらいそうずらすっていう話につなげるようなね、何か構えあったんじゃないのかなとか思うんですけど、
0:55:01	パターン 7 がこういう理由でかさ、水位は高くないんだけど、高くないというか、
0:55:08	一番高いような波じゃないんだけど、磯が重なると、
0:55:13	こうなって、だからこう位相ずれも検討していく必要があるっていうような、こうなんか導入のところね、
0:55:20	何か、
0:55:21	家があったような気がするんだけどなあと思って、見てて今の文章だけ気見て。
0:55:28	何で一発にはあ。
0:55:31	の移送の話に入っていくのかってというのがですね。
0:55:36	多分
0:55:37	普通の人にはわからないかなと思ってこの導入部何かこう、今までの部品で、
0:55:43	結構、
0:55:45	無駄なところを削っていったっていうのがあるんでしょうけど、必要な何か、
0:55:50	わかりやすくするための絵っていうのは、あれば入れて欲しいなと。
0:55:55	思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:57	でね。
0:56:00	今度実際の検討っていうのが 29 ページから始まって、
0:56:05	だからこの最後、最初の概要っていうのは何か前置きみたいなどころな んですかね。
0:56:12	で、実際の検討は 29 ページから始まって、これが、
0:56:18	いきなりその、
0:56:19	あれなんですね、陸上地すべり川白の一派と重なるのはって言って始 まるんですけれども、
0:56:26	これ。
0:56:27	2 羽以降は、
0:56:30	別途確認してるんですっていうのが、どっかに何かあればね。
0:56:38	やっぱと重なるのを、ので、検討するので、をしていけるっていう、
0:56:43	そういうのをねうまく関係性をこう変えていっていただけたらなというふう に、
0:56:48	思ったところですよ。
0:56:51	根井。
0:56:52	32 ページで、
0:56:55	アスペリティ時の変動の影響についてって言ってちょっとこれ私も前な んかヒアリングで確認したのでつけてくれてるんですけれども、
0:57:06	そもそもこれ、
0:57:10	こういう理由で、
0:57:13	DEからEFを、
0:57:16	検討するんですっていう、その前段はどこにあるんですってこれあれで すよね。DEからEF以外は、
0:57:24	見ないですよっていうのを 32 ページに入れたんですよ。
0:57:28	その前に、
0:57:29	DからEFを見るんですっていうのが、
0:57:34	ないとなと思ったんですけど、その辺はどこかにあるんですって。
0:57:43	そそれでもここで宣言してるんすかねDからEFをみますっていうの。
0:57:50	藤北海道電力の青木です。
0:57:52	藤さん 10 ページの、アスペリティ位置dFPっていう辺りに関連してると ころかと思って。
0:58:00	ここ
0:58:02	屋根裏じゃないっていう代わりにD付近を見ますっていう言葉が足りな いということでしたらね 31 ページに書くんじゃないですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:13	断層パラメータ変動による影響検討フローの考え方。
0:58:19	それがあって、いやいやちなみに、
0:58:24	これ全部をこう、
0:58:26	やる必要ないんですよ、要するにBからEFだけを見、見ておけばいいんですよっていう説明が、
0:58:32	32 ページにないと。
0:58:35	何かね。
0:58:36	これはただ流れが悪いのかなとかこう思って言ってるところです。
0:58:46	当北海道電力アオキです 30 ページ 31 ページの辺りで、でいいからEFを見ますっていう言葉が抜けているというふうに認識しておりましたので、そのあたり、
0:58:56	記載の適正化 30 と 31 ページですね。
0:59:01	でね。うん。うん。ほんで 32 ページを、
0:59:04	なんか、結構ごちゃごちゃ書いてるんですけど、平たく言うとうどういうことなんですかっていう
0:59:13	何か
0:59:17	見なくていい、言い訳っぽく書いてるような、
0:59:21	構図になってて、いやそうじゃなくって、
0:59:26	多分、このD、DからFっていうのが、とにかくもう大きいんだとは、振幅が。だからもうここにこう決めてやっていくんですよ。ちなみにその他のところは、
0:59:38	見なくて、
0:59:40	その他のところ、これだけをまず見ておけばいいんです。
0:59:46	で、
0:59:48	他のところに行くと、何て言うんですかねここ書いてるのは何なんですかね。
0:59:54	振幅が小さくなるから、
0:59:57	そこはこう見てもしょうがないんですよっていう話なんですよねきっとこれ。
1:00:02	多分その辺の効果、簡単に言うとうどういうことなんですかっていうのが、
1:00:06	わかりにくくて、
1:00:10	そういうことじゃないんですかこれ。
1:00:15	北海道電力の青木です。衛藤さん 12 ページで、AとABからGH大きく振った場合見なくていい理由なんですけれど、振幅が一つの理由になっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:26	もう1点移送の観点でも、理由として一つ挙げておりました、そちら、ちょっとし、簡単にまとめた方がわかりやすいところでは思っているところですが細かいところで恐縮ですが、
1:00:40	左下のところの地震津波の2羽のヒガシ移動。
1:00:44	の観点で言いますと、
1:00:47	振幅以外の理由というところで、そもそも、
1:00:51	BからGHIに振った場合には重ならないところがありますのでそういった振幅以外の理由でも落としてるというところが事実として1点あります。
1:01:15	ちょっとねこれこういう話をする時はあんまりこう細かい話をつけてもいいんですけれども要するにこういうことなんですよっていうのが、
1:01:25	何か主張がわかるような、
1:01:28	ねえ。
1:01:29	説明。
1:01:31	ありがたいなと思います。
1:01:34	ちょっと改めて確認なんですけど、
1:01:41	例えば52ページで、
1:01:44	検討のフローがありますよね。
1:01:52	僕はただ単にねこれどういう検討をやっていったんですかっていう事実確認。
1:01:58	の部分が、やっぱ聞かないとわかんないかなと思ってるところが、
1:02:03	① やりました②波源波源位置の設定範囲、ピークが重なる波源っていうのを確認しましたと。
1:02:11	で、ここまでは、特に四つの地形モデルとか、
1:02:16	評価地点だとか、そういうものは、
1:02:20	特に、
1:02:22	考慮せずにやっているということですよ。
1:02:27	③までは、
1:02:29	地形モデルごと、
1:02:30	評価項目ごと、
1:02:33	ていうのを別にやってないってことですよ。
1:02:42	北海道電力の青木です。その通りの認識で①から③の検討については、基本的に防波堤損傷①で整理してたかと思っております。
1:02:54	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:56	それ以降の④以降については、すべての地形モデル、すべての評価項目っていうところを対象にしているというふうに考えております
1:03:07	うん。そうですね。
1:03:09	③までは、これは全、全地形モデル共通の考え方なんですよと。
1:03:17	両括弧 2 の概略検討になると、四つの地形モデル全部、
1:03:23	検討してみましたと。
1:03:26	そういう意味で、概略検討なのかな。で、
1:03:29	評価項目全部、
1:03:31	見てみましたよと。
1:03:34	このときに、
1:03:41	重なる。
1:03:43	組み合わせ時間範囲っていうのも見て、
1:03:47	検討してるってことなんで、
1:03:49	ですよ。
1:03:50	5 秒ピッチで見ていきますよっていうやつも、
1:03:54	ここでも見てるんで、
1:03:58	当北海道電力のアオキですと 5 秒ピッチで検討するっていうところは、
1:04:03	基本的に 0 へと検討フローの 52 ページとかの⑥の、
1:04:09	組み合わせ評価に行った段階で 5 秒ピッチで検討しております。⑤までの検討は基本的な地震津波単独の派遣を用いた検討になってごめんなさい、6 で聞かなきゃいけないくて、
1:04:20	だから、005 までは、各地形モデル上昇側の評価項目全部見て、
1:04:30	組み合わせ評価はそこで選ばれたものに対して、
1:04:34	組み合わせ時間差を考慮したか
1:04:37	ことでいいんですかね。
1:04:39	と北海道電力のアオキでセットその通りの認識で、①から⑤の検討地震津波単独のは形から厳しくなりそうな波源を見つけた上で⑥で組み合わせ評価をしております。
1:04:51	組み合わせ評価では、TSカルティエさすTDの範囲内で、5 秒ピッチで検討しております。以上です。はい、谷です。
1:04:59	なんかねその辺が、
1:05:01	何かこう一言をどっかにこう、
1:05:07	何かあれば、僕もやったことがわかるのかなって思う。
1:05:12	それか、多分簡単なことなので、
1:05:16	その検討途中、何をやってるのかっていうのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:23	うん、わかるように、
1:05:26	してもらえたらなっていうふうに、
1:05:29	思います。
1:05:32	あと北海道電力の青木です。どう何をやってるかっていうところを資料から読み取れるように、記載の適正化を図っていきたいと考えております。一方わかりやすさの観点っていうところもありますので、
1:05:43	その辺りの強弱、考えて検討いたします。以上です。
1:06:00	井谷です。どんどんどんどん何かとみんな言ってください。
1:06:05	ねえ。結局やっぱり 74 ページ、結果が 71 ページにあって 74 ページは、ちょっとイレギュラーなものを
1:06:16	74 ページ 75 ページで確認しましたよと。
1:06:24	これ、
1:06:28	大井ねやっぱりね何か、
1:06:30	だから何なんだよっていうような
1:06:33	何か、
1:06:34	説明したいのは何、何なんだろうなというのがね。
1:06:40	分析しました。
1:06:43	最も水位が高い波源であることから組み合わせ評価の水位が高い。
1:06:57	これ、74 ページはもうだから、重なるピークが重なる波源として選ばれていないような波源なんだけども、
1:07:06	計算してみたらこの視点では重なるんです。
1:07:12	だから大きなものになっていることが納得できるんです。
1:07:19	健全地形モデルだけそういうことが起きてるんですっていうことなんですかね。
1:07:24	何をこう、
1:07:27	最後、結論として持ってるのかで、
1:07:30	75 ページもそうなんですけどこれは違うパターンで、これは健全地形モデル。
1:07:37	だけがこういうことが起きました。
1:07:42	ていう、
1:07:44	もっと、
1:07:50	竹尾。
1:07:51	うん。なんかね最後、
1:07:55	だから何なんですかねっていうのがね僕は読んでてよく、
1:07:59	わからなかったなっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:01	ありますけれどもこれはあれですよ結果をちょっと考察して、補足、補足的に。
1:08:08	こうやってるってということなんですかね。
1:08:10	このまとめまとめなんですかけれども、これまとめなんですかねとか、
1:08:16	参考でちょっと考察してみました。何ですかね。
1:08:20	ちょっと確認させてください。このまとめの本当の最後のところにこういうのが出てきて、
1:08:26	これどう、どれぐらい大事なんだろうなっていう。
1:08:30	その全体の論理構成にこう、
1:08:33	影響するような、
1:08:36	まとめなんですかという、
1:08:40	北海道電力の青木です。
1:08:42	ちょっと丁寧に説明させていただきますと、本編資料の 8 ページで、検討の方針、うたっております。
1:08:50	その中での組み合わせ評価、ピークが重なる波源の組み合わせ評価。
1:08:55	メインのパートだということをごこれまで説明してきたところになっております。
1:08:59	それに対して 73 ページ以降、今谷さんから質問があったところについては、Bの水位が高い波源の組み合わせ評価の結果から選ばれた波源になっておりますので、
1:09:10	検討の方針っていうところを踏まえますと、Aの評価と、それに加えてBの評価両方から選んでいるので波源選定としては妥当ということが結論として出ているところ。
1:09:21	になっております。ただ一方、71 ページのまとめのところ、
1:09:27	ハゲえとかは現Cについて、何も説明がないっていうところは、丁寧な説明ではないなというところで考察というところで補足参考という位置付けでし整理したものが、
1:09:39	73 ページから 74 ページというものになっております。
1:09:43	ただ資料の説明の箇所をまとめというところにこれが入ってることの適切かどうかというところは、ちょっと資料全体眺めた上で、
1:09:54	また検討したいと考えております。位置付けとしては考察、参考として考察したものという位置付けになっております。以上です。
1:11:25	でも大井っていうのはね、これ前から言ってるんだけれども、補足の 108 ページに、
1:11:40	何金子。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:11:43	大事なところで、
1:11:45	防潮て前面は、
1:11:48	今回のっていう、シリーズの中では別に考慮
1:11:55	シリーズの中で、
1:11:57	何だ、
1:12:00	の地点を 3 号炉の取水口だとか 212 号炉に代表させてますよと。
1:12:07	代表させても大丈夫なんですよっていうのを確認したっていうのが、
1:12:12	108 ページなんですけれども。
1:12:16	やっぱね、結局パターン 7 だけを最後説明してきているんだけど、
1:12:23	前なんかパターン 6 も説明してきてくれて、
1:12:26	ちょっと何を言いたいか。
1:12:28	何かよくよくこう僕はこう、
1:12:34	結局、結論なんですかっていうようなことを確認した気がするんですけども。
1:12:40	これ 7 番だけを説明して、
1:12:43	それで、
1:12:44	いいんですかね、この
1:12:47	パターン 7 を説明している理由は、
1:12:51	何なんですか。
1:12:55	パターン 6 もチャンピオンになるんですよ。
1:13:02	北海道電力の青木です。ちょっと本編資料の、先ほど議論あった 73 ページ。
1:13:08	というところで、
1:13:10	の組み合わせ評価から選ばれたチャンピオンケースっていうところが、断層パターン 7 のケースですべて占められているというところがありますのでそれを踏まえて、
1:13:21	補足説明資料の 108 ページでは、断層パターンなの波源を対象に検討しているという立て付けになっております。
1:13:31	何か、
1:13:33	そうだとしたらねそれを書いたら、
1:13:37	わかるつまりパターン 6 って選ばれてるのは、
1:13:41	別にこう評価地点代表させて選ばれているような波源じゃなくて、今回のこの A シリーズの評価では、代表させてるのから選ばれたのはパターン 7 だけなんですってことなのか。
1:13:54	ああ、なるほどなるほど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:59	だからこの 108 は、A、Aにおいて、
1:14:04	ということになってるってことですね。
1:14:07	わかりました。わかりましたけど、
1:14:11	ちょっとわかりにくいですね出だしがね。
1:14:13	において、
1:14:17	うん。
1:14:18	はいはい。確認できました。
1:14:53	はい規制庁佐口ですけど、またちょっと、
1:14:57	話がですね資料構成の話に戻ってしまうかもしれないんですけど、
1:15:01	結局、前回、3月でしたっけ、の会合から、
1:15:06	今回の評価なり方針なりで、
1:15:11	変わったもの。
1:15:12	変更点。
1:15:13	については、
1:15:15	今あって、
1:15:16	どっか資料の最初の方にあたりするんですか。
1:15:22	北海道電力の青木です。ちょっと細かなところで回答になってるか。
1:15:28	ちょっと
1:15:29	難しいんですけど、本編資料の9ページというところで、
1:15:35	前回までの説明については、
1:15:39	下のBの評価。
1:15:41	を基本に、最大ケースを選んでいたというところになっておりまして、今回の3月24日の会合から変更した箇所ってところは、Aの評価を追加したってところが大きな変更点になっております。
1:15:56	こちらで回答になっていますでしょうか。
1:16:00	はい。規制庁佐口です。方針の変更ですね。逆に言うと、評価評価結果自体の、
1:16:08	変更点というのは、ごめんなさいね、上昇側下降側含めてな。
1:16:13	けど、
1:16:13	これってどこに。
1:16:16	書かれてます。
1:16:18	当北海道電力のアオキですと補足資料の138ページ一番最後のページですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:31	ちょっと説明の観点変わってしまうところもあるんですが、上昇側の最大ケースだけをまとめたものが 138 ページになっております。その中で前段の、
1:16:42	結果っていうところが上段で書いておりまして、前回の 3 月 24 日時点では、地形モデルごとの最大値を選ぶという観点で、それぞれの地形モデルごとの最大値をそれぞれ記載しておりました。
1:16:54	それに対して今回は、四つの地形モデル評価項目ごとのマトリックスで最大値を選ぶっていう考え方に変わっておりまして、その対比でいうと結果の差分というところはこれが一番わかりやすい資料なのかなと考えております。以上です。
1:17:11	はい、規制庁佐口
1:17:12	えっと、
1:17:14	それって本当に補足でいいんですかっていうのが 1 点と、
1:17:21	もう 1 回ですね、
1:17:24	確認させていただきたいんですけど、例えば、
1:17:28	11 ページのこの表自体は、前回から変わっていない。
1:17:35	0 下降側。
1:17:37	側、下降側っていうのは、当然何か評価項目、評価値、
1:17:44	何か変わったと。
1:17:46	思いますけど、それが多分、
1:17:51	いきなり何か説明が、
1:17:54	始まっちゃってるのが 15 ページ。
1:17:59	いや、そもそも、
1:18:01	評価方針というのが評価項目がまず変わったというのは当然、これ大きな変更点ですよ、下降側という
1:18:09	上昇がもう当然、コメントを受けていろいろ追加で検討した結果、おそらく 100、ごめんなさい、11 ページのこの表自体も、
1:18:21	少なくとも 3 月の会合からは、
1:18:24	何か大きく変わってないですか。ちょっとそこを教えてください。
1:18:34	北海道電力のアオキでちょっと質問のイトウわからなかったところもあるので確認にもなるんですけど。
1:18:41	フォーマットが変わっているかどうかという確認で、
1:18:54	はい、規制庁佐口です 11 ページで、例えばそういう文章を見ると、これ多分違うんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:00	誤解されるのは、この黄色のハッチングをされたところが、あれ前回会合から変わったところなのかな。
1:19:08	というふうに、一つの一番上の丸ですよ、検討結果のところ。
1:19:13	全厚前回会合からへ更新され、
1:19:17	概ね地震に伴う津波の第2版の断層型なのは変なんだ、黄色ハッチング、これが変更し、された箇所かで、
1:19:26	何か見てる人は誤解をされるんじゃないのかなと。でも多分何これあって、これって黄色のところだけじゃなくて、
1:19:34	他のところも多分、
1:19:36	援護があつたり、あと評価値、
1:19:39	波源そのものは現存そのものが、
1:19:42	変わったものもあれば、評価値が、
1:19:45	変わったものもあるはず。
1:19:47	そこが、
1:19:48	ちょっとよくわからなくて、
1:19:50	そこがわかるようなものがありますかっていうそういう趣旨なんですけど。
1:19:54	北海道電力の青木です。
1:19:56	本編資料11ページのところで、今の、
1:20:00	最新の結果すべて踏まえた最大値を11ページの、この4掛け4の表で記載しております。
1:20:07	この黄色ハッチングしたところっていうのは前回からの変更箇所っていうものに該当してまして、はげも変わっておりますし評価値も変わっております。
1:20:16	その変更前後の差分がわかるようなものがあるかどうかっていうところが質問の趣旨かと認識しておりまして、そのあたり、今の資料とちょっと読み取れないところもありますので、
1:20:26	11ページの、前回の、
1:20:29	3月24時点、
1:20:32	のところの最大ケースがどのようになってるかっていうのがわかるような資料を追記したいと考えております。以上です。
1:20:40	はい規制庁、佐口です。これ、11ページっていうのはあくまでも上昇側の話であって、下降側っていうのは、もう多分そのまま今そっくり
1:20:49	変わってるんですよ。
1:20:51	御社その参考値というされる
1:20:53	のかはどうかはちょっと別として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:56	だからそこもきちんとわかるような形で、まずは示していただきたいというのと、もう1回ごめんなさい確認のやつなんですけど、11ページってこの日黄色ハッチングのところだけですか本当に変更点は、
1:21:22	当北海道電力の青木です。
1:21:25	11ページのところの、波源であれば、
1:21:30	前回説明したケースというふうに認識しております。では原資についても、前回説明したケースというふうに認識しております。
1:21:40	簡潔に言いますと、差分のところは黄色ハッチングというふうに認識してるところになっております。以上です。
1:21:47	規制庁サクセスわかりましたのでそれは少なくともわかるような形で示していただきたいと。
1:21:53	ごめんなさい私、またこれも誤解かもしれないんですけど、私の記憶だと、
1:21:59	多分この波源Cのところって、
1:22:01	前回から変わってるんじゃないかなと思うので、そこはちょっと確認をしてみても
1:22:08	当北海道電力の青木です。江藤は原子のところが変わっているかもしれないというところでここを重点的に確認したいと考えております。以上です。
1:22:21	多分その下、関連してなんですけど、結局最後のまとめみたいなのを説明するとしたら、今回の追加検討で、どういうことがこう改善されているのかというか前回から例えば、
1:22:35	1.6メーターぐらいだったんですかね。
1:22:37	そういうものが、上がっているよとかですね、或いは、それってどういうことによって上がったのか、多分詳細パラスタみたいなのをやったから、
1:22:50	上がってるとかですね、そういう
1:22:54	エッセンスこう最初の子大事な結果に対しての分析みたいなのが、何か今、
1:23:05	説明がなさそうな気がしてて、その辺も合わせてですね、佐口さん言いました差分っていうところではですね、説明していただけたらなというふうに思います。
1:23:18	当北海道電力の青木です。傍聴て前面の数字とかが特に大きくなったなと思っておりましてそのエッセンスわかるようなものをイマダと65ページとかの、本編資料側で掲載しておりますので、その中身を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:33	差分を示すっていうところも踏まえて、前半の説明概要のところにつけ加えるような形で修正したいと考えております。以上です。
1:24:09	あと谷ですけど、
1:24:11	124 ページ
1:24:14	なんすけど、
1:24:18	これ、前もこういう書き方で、私はそんなにこう、うん。
1:24:23	うん。
1:24:25	うん。気にならなかったんですけど。
1:24:28	何か最近の会合とか見てて、上記の考え方はこの先行サイトの評価と同様であるってすると、何か本当にそうなのかなっていうのを、
1:24:39	これってシマネットは同様っていうことかと思うんですけども。
1:24:45	いや、他のサイト全部を含めると、
1:24:49	ハタの損傷ケースは参考値みたいな形で扱っ。
1:24:55	影響検討みたいところで扱ってるようなサイトもあるし、なんかその辺はね、必ずしも全部のサイトがそのサイトの特徴に応じた評価をしているもんだから、
1:25:10	同様っていうわけではないんだと思うんですよ。
1:25:13	なのでちょっとこの辺の書き方はね、参考にしてるのは間違いないですね、過去の先行サイト。
1:25:21	を参考にしてこういう評価にしたっていうのは、そういうことなんだと思うんですけど、ちょっと同様であるっていう。
1:25:28	ところまでは、書き過ぎなのかなあとか、主同様であるっていうんだったら
1:25:35	あるサイトをちゃんと香田出したら、そこそこと同様であるでいいんだろうかなと思うんですけど、ちょっとこの辺の書き方を、
1:25:44	気をつけてもらった方がいいかなと思います。規制庁の名倉です。私もちょっと同じような意見で、
1:25:50	先行サイトって時に、
1:25:52	同様の事例として例えば、
1:25:55	泊集まりなかった島根とか、
1:25:58	そういうふうに挙げていただいた方が逆によろしくて、
1:26:01	どちらかというと、一つ目の丸の矢羽根の方の意味合いが強くて、サイトの特徴が非常に大きいので、
1:26:11	だから、
1:26:12	地形モデルごとに波源が大分違うので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:15	ここはちゃんと、すべての
1:26:17	モデルで評価ポイントで波源をちゃんと抽出しました。
1:26:22	でていければそれでいいのかなというふうに、
1:26:28	北海道電力の青木です。
1:26:30	ちょっと小部通能固有名詞のサイト名を上げるっていうところになると、 ちょっと影響があるというところもありますのでここは事実確認と事実と いうところで、
1:26:41	そういった検討をしているサイトがありますよっていうところをもっとしっ かり書くようにしたいと考えております
1:27:32	ちょっとこの辺はどう書くのが適切なのかっていうのを考えてもらって、
1:27:45	あとはねなんかね 120 ページなんですけれども、もう、これまた下降側 になってしまうんですけど、
1:27:58	何か二つ目のね。
1:28:02	矢羽根の 1 個目の矢羽根か、だから、
1:28:07	この最後の、
1:28:09	長くなるように、川白が重なる移送の関係となっている。
1:28:14	ていうのは事実、
1:28:17	示してますよね。
1:28:19	で、ことから、
1:28:22	すでに移送の変動が考慮されたってというのがこれこれが何か、
1:28:27	もうハッタはてなになってしまって、
1:28:29	ちょっと言いたいことが何なのかっていうのを、
1:28:35	じゃあ、これ多分普通の人わかんないと思う。すでに移送の変動が考慮 されたって言っていいんですかね。
1:28:45	北海道電力の青木です。ちょっと考え方の流れにも関連するところにな りまして、
1:28:55	100 ページでフローを書いているところになっております 100 ページです ね。
1:29:07	この中で、(1)と(2)っていうところは事前の整理っていう位置付けにな ってまして、ホンチャンの検討というところが、(3)(4)というふうなたてつ けにしております。
1:29:18	その中で(3)のところでは、水位上昇側に対して一番厳しい成長障害で やった結果から、
1:29:26	コガの最大ケースを選んできてるっていうところろろろが

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:31	事実を失っているところになっておりまして、その中で、上昇側に対して位相変動することで下降側に対しても、一層の変動ができていますっていう。
1:29:41	ことバーの趣旨というところで 120 ページのところ、すでにその変動が考慮された元が選定できていると。
1:29:48	というようなフレーズに繋がってるところになっており
1:30:02	はい根井
1:30:04	言いたいことはそういうことであってもなかなかね。
1:30:09	これはお任せします。
1:30:17	あとごめんなさいねバラバラと思い出して構成質問してるんですけど、
1:30:23	あれどこでしたっけ 2 班以降の話の、
1:30:31	85 ページ。
1:30:46	これそもそもなんか線形足し合わせスルーん、この後で線形足し合わせするんだけど、
1:30:55	この
1:30:56	対象船型足し合わせをしますよっていう。
1:31:00	対象が、ここにあるグラフの方。
1:31:04	これはあれか。
1:31:05	ある地形の、
1:31:11	健全地区モデルの 12 号炉取水口の
1:31:16	小例として出してるんですけど、
1:31:19	この波源っていうのは、
1:31:22	何から決まってきた波源なんでした
1:31:27	当北海道電力の青木です。ちょっと 85 ページだと 1 例だけになってしまうので、
1:31:33	86 ページとか四つの地形モデル、すべて共通してるところで、凡例で書いてる断層パターン 5 から 8。
1:31:41	の矩形モデルヒガシそれぞれ何キロっていうところの、
1:31:45	これがどういうケースかっていうところだと思います。
1:31:48	その答えとしては、磯が一番早い波源っていうところを引っ張ってきているところの根拠になっております
1:32:04	どっ
1:32:07	呉ん。
1:32:10	新風が一。
1:32:12	大きいものをね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:32:13	足し合わせで確認する必要がある、
1:32:17	このやり方のロジックからしたらありそうな気がするんですけど。
1:32:22	それは、
1:32:24	早い波源っていうのを選べばいいんですか
1:32:30	当北海道電力のアオキですとフローのたてつけっていうところで、一番最初に重なるかどうか。
1:32:37	ていうところを整理しておりますその観点だと、磯が早い波源で選んでいくっていうところが適切かなと考えております。
1:32:45	重なるって決めたものに対して、振幅を大きくした方が厳しくなるのはっていうところが谷さんのコメントかと思っております。そういった観点では今検討できてないところになっておりますので、
1:33:18	江藤、北海道電力の青木です。考え方は磯が最も早いはげというところで引っ張ってきたところになるんですけど、ケースとしては、振幅も大きいもの概ね最大値になってるものっていうところで引っ張ってきているところになっております。以上です。
1:33:34	相田ニイツアノねそうそういうのがね、多分書かないと。
1:33:41	概ね7日概ねっていうのがね。
1:33:44	結果でしょ。88 ページで結果示してますけど、
1:33:48	ここで、
1:33:49	結構差がありますよと、第一波の組み合わせ結果とね。
1:33:54	結構こう何メーターか差があります。そういうものが入れかわるような、
1:34:00	ことがない、概ね最大値っていうことを概ね最大値に近いなのか。
1:34:06	そういうのを選べてるっていうことなんですかね。それが確認できたら、この辺のロジックはいいよ、良い、良いのかなと思いますし、
1:34:17	あとはあれですよねこの 388 ページのこの比較対象っちゃうのが、
1:34:26	と等価じゃないよっていうのに関しては、
1:34:32	何でした
1:34:33	書いてた。
1:35:13	井谷です。
1:35:16	傾向があるから、
1:35:31	はい。
1:35:34	終わります
1:38:57	規制庁の名倉です。
1:39:00	ちょっと今日こちらの方から、資料構成に係るコメントって私とか佐口とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:07	谷の方からいろいろあったんですけど、
1:39:10	ちょっと説明のですねストーリーを、
1:39:14	考えてもらって、
1:39:16	要は説明しやすい資料にしていればそれでいいのか、ただ、もう 会合も近いので、できることも限られてると思うので、
1:39:25	ちょっと
1:39:27	工夫をしていただければと思います。
1:39:29	特にこちらの方から構成に係る重立ったコメントって話については、
1:39:37	今回のコメント回答。
1:39:39	等、それによる方針変更がどのようなものだったのか。
1:39:45	その結果として、
1:39:47	前後比較も含めてどう変わったのか。
1:39:50	をまずわかりやすくしてください
1:39:55	と、というところがまずストーリー説明のストーリー上重要で、
1:39:59	ちょっと説明の概要っていうところ。
1:40:06	のところはどういうふうにちょっと織り込むのかというのをちょっと考えて いただくとして、
1:40:15	あとちょっと単位谷オクから谷の方からいろいろと指摘があったと思うん ですけどここでいろいろと、ちょっとわかりにくいところがあるのでそうい ったところはちょっとわかりやすくした方が、
1:40:26	ここはちょっとあれか
1:40:28	あんまりちょっと大きな構成をいじるとまためちゃくちゃになってしまうの で、
1:40:32	ちょっと
1:40:34	どうするかってのは検討していただける
1:40:42	北海道電力松村です。
1:40:47	そうですねちょっと時間もないのでできることは、
1:40:50	限られるというのはその通りかと思えますけれどもまず、
1:40:57	うん。方針変更した。
1:41:00	がどうなったのか、その考察みたいなところと、
1:41:04	前段の方でありました。
1:41:07	コメントの回答用紙。
1:41:10	箇条書きでどんな方針でどんなことをやって、どんな結果になったの か、そのあたりをまず追記をした上で、全体の資料構成をそれに合わせ た形で見直していきたいと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:24	以上です。
1:44:31	規制庁谷です。
1:44:32	ここからは次回の会合をどうしますかっていう最初に私言った話なんですけれども、
1:44:44	ちょっと上昇側でもう、それなりにちょっとリバイスをかける項目がある中で、学校側って、やっぱりまだ材料がね、ちょっと
1:44:55	足り足りないかなって思うようなところがあるっていう状況の中で、今月中に会合をやりますよっていうので進めるのを優先するとしたらですね、上昇側だけ、
1:45:06	やる、或いは加古川、ちょっと評価方針変えたところまでやるとか、いろんな選択肢があると思うんですけど、北海道電力の恋今希望としては、
1:45:19	どうですかね。
1:45:21	確認させてください。
1:45:24	当北海道電力の青木です。水位上昇側については、今回の修正を踏まえた上で、
1:45:31	審査会後に図れるように修正していきたいと考えております。
1:45:35	当加古川については、前回からコメントを受けたところ以外耐津波設計方針の内容を踏まえて方針変更したっていうところがありますので、その方針変更したところについて、衛藤、
1:45:48	方針変更の点については、説明させていただきたいと考えております。以上です。
1:45:56	はい谷です。ということは、今の資料でいうと、変更がしますよて、さわりの102ページだとか103ページだとか、そういうことを説明するんだけど、
1:46:07	それ以降の、まだ分析していたり、
1:46:12	この妥当性を説明してたりっていうのは、次回、今回の会合ではなくて次回に
1:46:19	しようということで、
1:46:21	それが牧希望でいいですかね。
1:46:24	北海道電力の青木です。その通りの認識でして、今回の資料で言いますと102ページ103ページの方針の変更に関わるるところについて、衛藤。
1:46:35	至近の審査会合で説明させていただきそれ以降の評価結果については、その会合以降、説明することを考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:47	はい、谷です。確認できました多分もう、今日今日決めとかないと、会合間に合わなくなってしまうと思うので、今の北海道電力の方針で、
1:46:58	方針、希望というか、上昇側を、
1:47:02	基本的にはか今度会合でかけるっていう方向で、今から調整したいと思いますのでよろしくお願いします。
1:47:21	すいません。規制庁の道口ですいませんちょっと。
1:47:24	12 ページで、すいませんちょっと一つだけ確認させていただきたいんですけど。
1:47:30	左側の①の中で、陸上RISベリーの第 2 ハタ地震と、その伴う津波の第 2 の組み合わせで、
1:47:39	これ地震伴う津波の第 2 版のP小西に移動させた場合っていうのは、
1:47:44	あれですね、ハゲオオニシにどう
1:47:47	したっていう。
1:47:49	意味ですか。
1:47:52	そうすると、すみませんその右側のこの検討例の凡例のところだと全部断層パターンとかが、
1:47:58	東へって何
1:48:00	けど、
1:48:05	ここって、
1:48:07	北海道電力の青木です。ちょっと資料のわかりやすさの観点で、
1:48:13	説明足りてないのかなと思ったんですけど、凡例で書いてるものっていうものは、波源位置を一番東に寄せたものになっております。その一番東に寄せたものに対して、
1:48:24	西に移動させたらピークの位置がどうなるかっていうのを、一番上の筧図のところでは第 2 羽の真下のところに黒い矢印で書いております。
1:48:33	この矢印に関する注釈っていうところが、グラフ中の米印で書いてまして、西に移動させた場合にどこまで第 2 版のピークが動いていくかっていうところをここで書いたものになっております。
1:48:45	そういった意味で、第 2 版のピークのところを波源位置として西に移動させた場合では、このピークが重なるっていうところを記載しているところのイトウと考えており、
1:48:55	こちらで伝わったでしょうか。すいません。もともとのこの凡例のその 1 を、
1:49:00	を示して、凡例は示しているだけであって、さらにそれを、
1:49:04	第 2 は能を検討する場合には、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:07	そっから西に移動させてるっていう意味
1:49:10	ですね。
1:49:11	それじゃ、第4班の方は、
1:49:13	さらに東にずらしてるってことになる。
1:49:19	当北海道電力のアオキですと第4版で書いている派遣については一番ヒガシにでも寄せ切ったもの。
1:49:26	になっておりましてこれ以上ヒガシに移動させる余地はないのでこのは形だけで、
1:49:31	確認できるというふうに考えております。
1:49:34	と2羽と4羽の違いっていうところが、西にずらすかヒガシにずらすかっていうところなんですけれど、今書いているものは、一番ヒガシにずらしたもののだけでは形を変えていて、そこから後、
1:49:46	考える余地としては、ニシノ移動だけっていうところで、第2はの方を矢印として補足したのになっております。以上です。
1:49:54	わかりましたありがとうございます。
1:50:40	規制庁谷です特になければこれで終わりたいと思いますけど、北海道電力ないですかWEBの方も特にないですか。
1:50:48	ファンドカ本店からも特にございません。
1:50:52	はい、それではヒアリングを終わりたいと思います。
1:50:55	どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。